



Wellington Citadel Band 2019 Japan Tour



2019 ウェリントン・シタデル・バンド初来日 40 周年記念日本ツアー
2019 年 11 月 30 日～12 月 10 日



特別後援

玉の肌石鹸株式会社

後援

ニュージーランド大使館

朝日新聞社

日本ブラスバンド指導者協会

遠軽町教育委員会

北見市教育委員会

北見地区吹奏楽連盟

クリオネ

千代田区

千代田区商店街連合会

神田すずらん通り商店街振興組合

神保町さくら通り実業会

清瀬市

清瀬北口睦会商店街振興組合

共催

学校法人 尚綱学院・尚綱学院大学

学校法人 北星学園・北星学園大学

学校法人 玉川学園・玉川大学・玉川学園学友会

学校法人 東洋英和女学院

主催

オホーツクブラスフェス実行委員会

千代田区ブラスフェス実行委員会

ウエリントン・シタデル・バンド招聘委員会

救世軍本営



救世軍ウエルントン・シタデル・バンド (WCB) 2019 ツアースケジュール

12月1日(日) 仙台

10:00 **WCB 救世軍仙台小隊音楽聖別会** in 南光台コミュニティーセンター (一般公開・無料)

14:30 **WCB&SBBB(仙台ブリティッシュプラスバンド)クリスマスコンサート**

in 仙台市立南光台中学校体育館 (一般公開・無料)

12月2日(月) 仙台

10:30 **WCB を迎えての賛美と礼拝** in 尚絅学院大学多目的ホール (学内限定)

12月3日(火) 札幌・遠軽

12:10 **WCB チャペルコンサート**

in 北星学園大学ウェブスター・グローブス・ホール (一般公開・無料)

19:00 **WCB オホーツク ブラスフェス** in 遠軽福祉センター大ホール (一般公開・無料)

12月4日(水) 遠軽・北見

10:40 **WCB 遠軽中学校コンサート** in 遠軽町立遠軽中学校体育館 (学内限定)

19:00 **WCB&OBC(オブリガード・ブラス・コンソート)クリスマスコンサート**

in 北見芸術文化ホール (一般公開・無料)

12月6日(金) 東京

14:00 **玉川学園創立 90 周年・WCB 初来日 40 周年記念クリスマスコンサート**

in 玉川大学 University Concert Hall 2016・Marble (招待制)

12月7日(土) 東京

10:30 **パレード** (神保町三井ビルディング~千代田通り~すずらん通り~さくら通り)

11:30 **WCB 初来日 40 周年記念ブラスフェス(第2回千代田区ブラスフェス)**

in 千代田区立神田一橋中学校体育館 (一般公開・無料)

12月8日(日) 東京

10:30 **WCB 救世軍清瀬小隊音楽聖別会** in 清瀬けやきホール(一般公開・無料)

13:30 **パレード** (けやき通り~清瀬駅北口りそな銀行前~清瀬けやきホール)

16:00 **WCB&JSB(救世軍ジャパン・スタッフ・バンド)クリスマスコンサート**

in 清瀬けやきホール (一般公開・有料)

12月9日(月) 東京

9:00 **WCB チャペルコンサート**

in 東洋英和女学院新マーガレット・クレイグ記念講堂 (学内限定)



ニュージーランド大使からのメッセージ

第5回ウエリントン・シタデル・バンド日本ツアー開催にあたりまして、心からお慶び申し上げます。



ウエリントン・シタデル・バンドは、本国ニュージーランドのブラスバンド界において大きな影響力を持つ、知名度の高い音楽グループです。所属する救世軍ウエリントン市小隊（教会）の日曜礼拝をはじめ、病院や老人ホームでの演奏会など、様々なイベントで活躍されています。英国を含む海外への演奏旅行も数多く、日本におけるファンも確実に増えているのではないのでしょうか。

2019年は、ウエリントン・シタデル・バンドが最初に日本で演奏旅行を開催してから、ちょうど40年目を迎える記念すべき年になります。今回の日本ツアーでは、首都圏をはじめ、北海道、そして前回2013年に引き続き、地震の被災地の一つである仙台でもコンサートを行います。教会はもちろんのこと、大学などの教育機関やブラスバンド・フェスティバルなど様々な場所で演奏する予定となっており、より一層多くの方々に楽しんでいただける機会となるでしょう。これを機に二国間の絆がより強くなり、音楽という共通言語を通じて私たちの友好関係はさらに深化を遂げるものと確信いたします。

最後になりますが、日本ツアー実現に向けてご支援くださった企業ならびに個人の皆さま、運営に携わってくださった関係者の皆さまにこの紙面を拝借し厚く御礼申し上げます。演奏会の成功を心より祈念いたします。

駐日ニュージーランド大使
ヘイミッシュ・クーパー



救世軍ニュージーランド司令官からのメッセージ

救い主であるイエス・キリストの御名においてご挨拶申し上げます！

私どもはウエリントン・シタデル・バンドの日本公演が成功を収めますよう、心から願っています。どうか、バンドの奉仕と証しが多くの人々に感化をもたらすものとなりますように祈ります。

ウエリントン・シタデル・バンドにとって日本ツアーは過去からの歴史でもあり、これから未来に引き継がれていくものでもあると思います。かつてそうであったように、この2019年のツアーも主によって力強く用いられることを、私は確信しております。

救われ、そして、献身の思いを新たにしている人々の報告が寄せられることを楽しみにしております。



救世軍ニュージーランド・フィジー・トンガ・サモア司令官
中將 アンドリュー・ウェストラップ

救世軍日本司令官からのメッセージ



敬愛する友人の皆さまへ

私は喜びをもってニュージーランドからウエリントン・シタデル・バンドを日本に迎えるものであります。この卓越した演奏者たちは、すばらしい経験、能力、熱意をもち、すぐれた賜物と、あたたかい人柄を通じて、最高の演奏をしようと研鑽している人々です。

彼ら楽隊員たちは、救世軍の大使として世界中で希望と力と平和のメッセージを伝えてきました。

私と妻のシェリル・メイナー大佐は、このすばらしいバンドを迎えることができることを、心から感謝しております。

皆さまと共に、その音楽を聴けることを楽しみにしております。

神の祝福が豊かにありますよう、お祈りいたします。

救世軍日本司令官
大佐 ケネス・メイナー



日本ブラスバンド指導者協会理事長からのメッセージ

魂を揺さぶられる救世軍のバンド

今から 58 年前（昭和 36 年）、私が東京芸術大学のトランペットの学生だった頃、一枚のレコードに出会いました。それは英国のハリー・モーティマー指揮のオールスターブラスでした。最初レコードを聴いた時は、これを演奏しているのが金管楽器のみの合奏だとは信じられませんでした。演奏技術はもちろん素晴らしいですが、何よりも、その音色の素晴らしさ、“歌心”のある、フレージングは、私の心に深く残りました。特にコラールやスロー・メロディは魂を揺さぶられました。



ブリティッシュ・スタイルのブラスバンドに興味を持った私は、レコードや資料を集め勉強しましたが、なかなか本物のサウンドは出ませんでした。

1979 年（昭和 54 年）、ニュージーランドからウエリントン・シタデル・バンドが初来日し、各地で演奏会を開いてくれました。救世軍のバンドは、一般の英国バンドに比べて、音そのものに魂があり、そのサウンドは本物の音楽そのものです。

ウエリントン・シタデル・バンドの演奏を聴いた人たちは、本当のブラスバンドの良さを理解し、日本でもこの様な音楽で感動させるブラスバンドをやりたいという人たちが多くなりました。現在、小学生を中心としたブラスバンド活動が盛んになってきました。

日本におけるブラスバンド発展の源は、この救世軍バンドにあると言えます。

日本ブラスバンド指導者協会 理事長
洗足学園音楽大学 名誉教授
山本武雄



エグゼクティブ・オフィサーからのごあいさつ

皆さまを歓迎いたします。ウエリントン・シタデル・バンドの2019年シンガポール・日本ツアーに随行できますことを心から感謝しております。ご承知のとおり、今回のツアーの実現に多くの方々がお骨折り下さいました。その共通の目的は、福音の光をできるだけ多くの方々にお届けしたい、ということにあります。このために労してくださったすべての皆さまに心から感謝とお礼を申し上げます。

このツアーを通して奏でられる音楽や歌を楽しんでくださるだけでなく、それが誰のために奏でられているのかもご理解いただければ幸いです。

新約聖書のヨハネによる福音書8章12節に、イエスは「世の光」であり、イエスを通して誰もが命の光を経験できる、と記されています。神学者ジョン・パイパーは、「神の輝きが、人間の心の網膜に映し出された。それがキリストの光だ」と解説しました。

ニュージーランドの救世軍はマオリ語で「テ・オベ・ファカオラ」すなわち、命をもたらす軍隊、と呼ばれています。救世軍ウエリントン市小隊（教会）は、人生のどんな状況にあっても、命と希望をもたらすことができると信じて、活動しています。

どうか皆さまが、ウエリントン・シタデル・バンドの音楽と歌を通して喜びと命を経験されるだけでなく、光の源であるキリストと、その光の中で生きる神の子としての姿をも見て、知っていただきたい、と心から願っています。

神様の祝福をお祈りいたします。



救世軍ウエリントン市小隊長
大尉 ペリー・ブレイ

楽長からのごあいさつ

ウエリントン・シタデル・バンドの楽隊員一同を代表し、皆さまを心から歓迎いたします。この場所で演奏できますことを光栄に存じます。私たちの演奏が皆さまの喜びと力になることを願っています。今回のツアーのテーマは「光をもたらす」です。

私たちは、新約聖書のエフェソの信徒への手紙5章1節と13節の言葉「あなたがたは神に愛されている子供ですから、神に倣う者となりなさい」「しかし、すべてのものは光にさらされて、明らかにされます」に基づいて、私たち自身のため、また、日本の皆さまのためにお祈りして参りました。どうか、私たちの演奏を通して、イエスの愛の輝きをあらわすことができるように、と願っております。また、日本の救世軍のメンバーたちが、社会の中で、光と希望と愛の灯台になれるようにと願っております。

「光をもたらす」というテーマは、私たちの演奏のレパートリーの中に繰り返し登場します。ちょうどクリスマスシーズンですので、ぴったりのテーマではないでしょうか。クリスマスのイエス様の誕生は、私たちすべてに、新しい命、希望、明るい心を与えてくれます。クリスマスの物語の中でも光が大切な役割を果たしています。羊飼いたちは星にみちびかれてイエス様の生まれた場所にたどり着きました。そして、ルカによる福音書2章9節にあるように「主の天使が近づき、主の栄光が周りを照らした」のです。



救世軍ウエリントン・シタデル・バンド
楽長 ジム・ダウニー



ウエリントン・シタデル・バンド

Wellington Citadel Band (WCB)はニュージーランドのウエリントン市の救世軍小隊(キリスト教プロテスタント教会)に所属する 1883 年創立のブラスバンドです。代々優れたソリストと楽長が導いてきましたが、特に、バート・ニーヴ、エリック・ゲデスらの優れた指導により成長してきました。

WCB はニュージーランドのブラスバンドとして初めてラジオやテレビで放送され、世界の救世軍ブラスバンドの中で最初に LP レコードを製作しました。

1949 年と 1964 年にオーストラリア、1968 年にはアメリカ合衆国、カナダ、イギリス、スコットランド、アイルランドとウェールズへ、2002 年にはカナダとイギリスに演奏旅行をしています。

日本へは 1979 年(この年は香港、シンガポールも訪問)、1985 年、2007 年、そして 2013 年に遠征。これまでの活動のハイライトとして、1986 年には、ローマ教皇ヨハネ・パウロ 2 世の前での演奏、イギリス・バッキンガム宮殿前庭での女王陛下の閲兵演奏パレード、1972 年のニュージーランド・ナショナル・ブラスバンド・コンテストでのゲスト演奏などがあげられます。

1979 年の初来日では、NHK ホールでの演奏が NHK テレビ及び FM で放送され、CBS ソニーによる来日記念 LP のレコーディングと発売、『バンドジャーナル』特集記事掲載、その他、盲学校、高校訪問や社会福祉施設での演奏も好評を得ました。

初来日より 40 年を記念する 5 度目となる今回の来日では、12/1 仙台を皮切りに北海道の札幌・遠軽・北見と巡回します。東京では 12/6 玉川大学・12/7 ブラスフェス・12/8 清瀬けやきホール・12/9 東洋英和女学院での演奏を予定しています。



TAMANOHADA



ウェリントン・シタデル・バンド&仙台ブリティッシュブラスバンド

クリスマス コンサート

12月1日（日）14時30分

仙台市立南光台中学校体育館（一般公開）

第一部：ウェリントン・シタデル・バンド

光あれ

『舞台管弦楽の為の組曲第一番』より「フィナーレ」

ユーフォニアムソロ：アーロンヴァリエーションズ

独唱：ユー・レイズ・ミー・アップ

フュージョン

アリストテレスの空気

独唱：赤とんぼ／ポカレカレ・アナ

トロンボーンソロ：あなたの愛の力

ホルネットソロ：エル・クンバンチェロ

フェニックス

花は咲く

第二部：ウェリントン・シタデル・バンド&仙台ブリティッシュブラスバンド

ファイア・イン・ザ・ブラッド

神のみ子は今宵しも



ウエルントン・シタデル・バンドを迎えての

賛美と礼拝

12月2日（月）10時30分

尚絅学院大学多目的ホール（学内限定）

第一部：

フェニックス

あいさつ：尚絅学院大学宗教部長・今井誠二

アリストテレスの空気

ホルン協奏曲第1番ニ長調

コルネットソロ：恋人は赤い、赤いバラ

独唱：オ・ミオ・バッビーノ・カロ～私のお父様

あかし：ロックラン・ヤング楽隊員

フリューゲルホルンソロ：あの子はくるくと市場の中を

シャイン！

フュージョン

休憩（15分間）

第二部：

Mr.インクレディブル

独唱：赤とんぼ／ポカレカレ・アナ

あかし：ブレンナ・スミス楽隊員

一緒に歌いましょう「神のみ子は今宵しも」

クリスマス メッセージ：ペリー・ブレイ大尉

プロミセズ

感謝の言葉：今井誠二

花は咲く



ウエリントン・シタデル・バンド

チャペル コンサート

12月3日（火）12時10分

北星学園大学ウェブスター・グローブス・ホール（一般公開）

『舞台管弦楽の為の組曲第一番』より「フィナーレ」

コルネットソロ：恋人は赤い、赤いバラ

ホルン協奏曲第1番ニ長調

あかし：ナイジェル・ミラー楽隊員

独唱：『ルサルカ』より「月に寄せる歌」

クリスマス メッセージ：ペリー・ブレイ大尉

一緒にカロルを歌いましょう「あめにはさかえ」

独唱：オー・ホーリー・ナイト

トロンボーンソロ：あなたの愛の力

合唱：さかえの主イエスの



ウェリントン・シタデル・バンド & 遠軽高校吹奏楽局

オホーツク ブラスフェス

12月3日（火）19時

遠軽福祉センター大ホール（一般公開）

第一部：遠軽高校吹奏楽局

フラッシングウィンズ

イエローマウンテン

グレンミラーメドレー

第二部：ウェリントン・シタデル・バンド

光あれ

ユーフォニアムソロ：アーロンヴァリエーションズ

合唱：さかえの主イエスの

汝は比類なき王

合同演奏：ウェリントン・シタデル・バンド & 遠軽高校吹奏楽局

ゴールドクレスト



ウエリントン・シタデル・バンド

遠軽中学校コンサート

12月4日（水）10時30分

遠軽中学校体育館（学内限定）

汝は比類なき王

『舞台管弦楽の為の組曲第一番』より「フィナーレ」

ホルン協奏曲第1番ニ長調

独唱：赤とんぼ／ポカレカレ・アナ

フリーゲルホルンソロ：あの子はくるくと市場の中を

あかし：ガブリエラ・ヘネシー楽隊員

プロミセズ

独唱：フー・イズ・ヒー

クリスマス メッセージ：ペリー・ブレイ大尉

合唱：さかえの主イエスの



ウエリントン・シタデル・バンド&オブリガード・ブラス・コンソート

クリスマス コンサート

12月4日（水）19時

北見芸術文化ホール（一般公開）

第一部：オブリガード・ブラス・コンソート

シャイン・ダウン

ユーフォニアムソロ：ポカレカレ・アナ

ハッピー・クリスマス

日本の詩

休憩（15分間）

第二部：ウエリントン・シタデル・バンド

フェニックス

フュージョン

独唱：『ルサルカ』より「月に寄せる歌」

ユーフォニアムソロ：アーロンヴァリエーションズ

セレブレーション

あかし：タデウス・ヤング楽隊員

『舞台管弦楽の為の組曲第一番』より「フィナーレ」

トロンボーンソロ：あなたの愛の力

Mr.インクレディブル

合同演奏：ウエリントン・シタデル・バンド&オブリガード・ブラス・コンソート

ファイア・イン・ザ・ブラッド

独唱：オー・ホーリー・ナイト

クリスマス メッセージ：ペリー・ブレイ大尉

ゴールドクレスト

※プログラムは予告なく当日変更になる場合がございます。



玉川大学創立 90 周年・WCB 初来日 40 周年記念

クリスマス コンサート

12 月 6 日（金）14 時

玉川大学 University Concert Hall 2016・Marble（招待制）

第一部：

クリスマス・フェスティバル

ユーフォニアムソロ：アーロンヴァリエーションズ

独唱：オー・ホーリー・ナイト

フリューゲルホルンソロ：あの子はくるくと市場の中を

イルミネート

クリスマス・アイダル

独唱：赤とんぼ／ポカレカレ・アナ

あかし：ジョナサン・フライ楽隊員

愛こそはすべて

セレブレーション

休憩（15 分間）

第二部：

光あれ

独唱：ユー・レイズ・ミー・アップ

クリスマス メッセージ：ペリー・ブレイ大尉

一緒にカローを歌いましょう「神のみ子は今宵しも」

コルネットソロ：エル・クンバンチェロ

花は咲く

シャイン！



ウエリントン・シタデル・バンド初来日 40 周年記念

ブラスフェス

第二回千代田区ブラスフェス

12月7日（土）11時30分

千代田区立神田一橋中学校体育館（一般公開）

- 11:30 千代田区立神田一橋中学校和太鼓部
千代田区立神田一橋中学校吹奏楽部
- 11:45 ジャパン・スタッフ・バンド
- 12:10 ブリティッシュブラス ドルチェ（長野）
- 12:35 ジャパン・シンフォニー・ブラス（大阪）
- 13:10 雀宮ユースバンド（栃木）
- 13:35 東京ブラスコンコード（東京）
- 14:00 ザ・バンド・オブ・ブラックコルト（東京）
- 14:35 郡山シティバンド（福島）
- 15:00 埼玉プレミアブラス（埼玉）
- 15:25 2019 ブラスフェス スペシャルバンド（全国）
- 16:00 ウエリントン・シタデル・バンド
- 16:35 合同演奏（全団体）
- 17:00 終了

※プログラムは予告なく当日変更になる場合がございます。

救世軍ジャパン・スタッフ・バンド (JSB-Salvation Army)

指揮：引地正樹

1. “Wellington City” (Thomas Rive)
2. Euphonium Solo “Ransomed” (George Marshall) Euphonium Solo : Makoto Ishikawa
3. “In tune with thy divinity” (Robert Redhead)
4. Band Chorus “He leadeth me” (Paul Kellner)
5. “Bleak Mid Winter” (arr. Kenneth Downie)



ブリティッシュブラス ドルチェ (BBD)

1. “As the Deer” (Martin Nyström, arr. James Wright)
2. “Temple125” (Kevin Larsson)
3. “Guardian of My Soul” (Darren Shaw)
4. “Fire in the Blood” (Paul Lavatt-Cooper)



ジャパン・シンフォニー・ブラス (JSB-Osaka)

指揮：江頭弘康

1. “On Parade” (Eiliv Herikstad)
2. “Stella” (Erik Silfverberg)
3. “By His Hand” (Thomas Mack)
4. “Light-Bringer” (Martin Cordner)



雀宮ユースバンド (SYB)

1. “Hands Across the Sea” (J.P. Sousa, arr. D.E. Twitchings)
2. Cornet Solo “Tucker” (Erik Leidzen) Cornet Solo : Shiho Takeda
3. “Rhapsody on Negro Spirituals” (Eric Ball)



東京ブラスコンコード (TBC)

1. Meditation “O Be Saved” (Michael A. Babb)
2. March “Torch of Freedom” (Eric Ball)
3. “Water of Tyne” (Traditional, arr. Philip Harper)
4. “Snow-flakes” (Frederick G. Charrosin)
5. “Rhythmic Danube” (Sam B. Wood)



ザ・バンド・オブ・ザ・ブラックコルト (BBC)

指揮：長坂利一

1. “In Good Company” (Dudley J. Bright)
2. Cornet Solo “First Light” (Ben Hollings)
3. “Treasures from Tchaikovsky” (Bramwell Coles)
4. “Jesus Loves Me” (James B. Anderson)

◆
郡山シティバンド (KCB)

1. March “The Liberator” (George Marshall)
2. “The Irish Blessing” (Joyce Eilers Bacak, arr. Stephe Bradnum)
3. Euphonium Solo “My Love is Like a Red, Red Rose” (Traditional, Arr. Gordon Langford)
4. “Highland Cathedral” (Michael Korb & Ulrich Roeber, arr. Howard Lorriman)
5. “Hootenanny Harold” (L. Walters)

◆
埼玉プレミアプラス (SPB)

指揮：関谷 真

1. March “Shining Star” (Peter Graham)
2. “The Circle of Life” (Elton John & Tim Rice, arr. Philip Harper)
3. “Vitae Aeternum” (Paul Lovatt-Cooper)

◆
2019 ブラスフェススペシャルバンド (2019BFSB)

1. Festival March “Praise” (Wilfred Heaton)
2. “In Perfect Peace” (Kenneth Downie)
3. “The Adventurers” (Martin Cordner)

◆
ウエリントン・シタデル・バンド (WCB)

指揮：ジム・ダウニー

1. “Phoenix” (Peter Graham)
2. “Finale from Suite for Variety Orchestra” (Dmitri Shostakovich, arr. Ian Jones)
3. “The Incredibles” (Michael Giacchino, arr. Bertrand Moren)
4. “El Cumbanchero” (Rafael Hernandez, arr. Goff Richards)
5. “Guardian of My Soul” (Darren Shaw)
6. Vocal Solo “You Raise Me Up” (Rolf Løvland, arr. Dorothy Gates)
7. “Shine!” (Barrie Gott)
8. “Let there be Light” (Stephen Ponsford)

◆
2019 ブラスフェス合同バンド (Mass Band)

指揮：ジム・ダウニー

1. Hymn Tune “Manchester” (Richard Wainwright, arr. A. Cook)
2. “A Christmas Festival” (Leroy Anderson, arr. William Gordon)



ウエリントン・シタデル・バンド & ジャパン・スタッフ・バンド

クリスマス コンサート

12月8日（日）16時

清瀬けやきホール（一般公開）

第一部：ジャパン・スタッフ・バンド

ウエリントン・シティ

マーチ：セレブレート・ザ・シーズン

プレリュード「ラベンハム」

ナティビティ・スウィング

ロンドンデリー・エアー

合唱：主われに先立ち

木枯らしの風ふきたけり

第二部：ウエリントン・シタデル・バンド

フェニックス

花は咲く

独唱：赤とんぼ／ポカレカレ・アナ

コルネットソロ：恋人は赤い、赤いバラ

フュージョン

プロミセズ

セレブレーション

休憩（10分間）

第三部：合同演奏

マーチ：ディスタント・トラヴェラーズ

独唱：オー・ホーリー・ナイト

カール「神のみ子は今宵しも」

独唱：フー・イズ・ヒー

社会鍋のアピール

交響詩－神の国の勝利

※プログラムは予告なく当日変更になる場合がございます。



ウエリントン・シタデル・バンド

チャペル コンサート

12月9日(月) 9時

東洋英和女学院新マーガレット・クレイグ記念講堂(学内限定)

汝は比類なき王

Mr.インクレディブル

独唱：オ・ミオ・バッピーノ・カロ～私のお父様

愛こそはすべて

あかし：エマ・ダウニー楽隊員

フリューゲルホルンソロ：あの子はくるくと市場の中を

マーチ：ディスタント・トラヴェラーズ

クリスマス メッセージ：ペリー・ブレイ大尉

独唱：オー・ホーリー・ナイト

あかし：ルイス・クレイグ楽隊員

コルネットソロ：エル・クンバンチェロ

アリストテレスの空気

合唱：さかえの主イエスの



曲目解説

ユーフォニアムソロ：アーロンヴァリエーションズ（旋律と組曲） Air 'N Variations

作曲 スティーヴン・ブラ

ソリスト：グラント・ピッチャー

2017年に来日したニューヨーク・スタッフ・バンドのユーフォニアム奏者アーロン・ヴァンダウィールのためにスティーヴン・ブラが書いたユーフォニアムソロ曲で、「ア・ハッピー・デイ」のコーラスのヴァリエーションとなっています。題名を直訳すると「旋律と組曲」ですが、英語でこれを読む際に「アーロンヴァリエーションズ」と聞こえるような言葉遊びになっています。ソリストのグラント・ピッチャーはロンドンのトリニティ・カレッジで演奏家ディプロマを取得し、現在は妻リンダと共に救世軍士官（伝道者）として働いています。

独唱：赤とんぼ／ポカレカレ・アナ Aka Tombo/Pokarekare Ana

作曲 山田耕作／ニュージーランド民謡 編曲 ジム・ダウニー

ソリスト：オリビア・シート

このアレンジメントには日本の童謡「赤とんぼ」と、ニュージーランドでよく知られ愛されている伝統的なマオリ族の曲「ポカレカレ・アナ」が使われています。ソリストのオリビアは才能ある若い芸術家に贈られるデйм・メルヴィナ奨学金の奨学生であり、クラシック部門の特待生として音楽の学士号を取得しています。

愛こそはすべて All you need is love

作曲 ジョン・レノン&ポール・マッカートニー 編曲 ドロシー・ゲーツ

冒頭、ニュージーランドの作曲家ディーン・ゴフィンがアレンジした救世軍の賛美歌「主のみ救い限りなし」(O Boundless Salvation)と同じファンファーレで始まります。「主のみ救い〜」は、神の愛を実践を通して伝える救世軍のテーマソング的な曲です。それに続いて、ジョン・レノン、ビートルズの代表的な曲「愛こそはすべて」(All you need is Love)に題材にブラスバンドに適したリラックススタイルにアレンジされています。

アリストテレスの空気 Aristotle's Air

作曲 クリストファー・ボン

空気はピュアなものだと考えられていますが、実際には空気中にたくさんの種類のガスが混ざっています。しかし音楽用語としての「空気」(エア)は違う意味を持ち、美しい曲、メロディー、旋律のことを指します。この曲はまさにそういうピュアなものと言えます。ソロユーフォニアムとソロ トロンボーンにより、美しいメロディーが奏でられます。

セレブレーション Celebration

作曲 レスリー・コンドン

救世軍インターナショナル・スタッフ・バンド(ISB)の設立 75 周年に際して当時の ISB 副楽長 レスリー・コンドンが作曲したマーチです。モチーフとなっている救世軍のコーラス「We'll Keep The Old Flag Flying」(A.S.Arnett)には次のような歌詞が付けられています。「伝統ある救世軍の旗をはためかそう、世界に旗が翻るように。すべての土地にこの旗を翻そう」

クリスマス フェスティバル Christmas Festival

作曲 ルロイ・アンダーソン 編曲 ウィリアム・ゴードン

「もろびとこぞりて」「ひいらぎ飾ろう」「きよしこのよる」「ジングルベル」など有名なクリスマスカロルが用いられた輝かしい一曲です。

クリスマス・アイダル Christmas Idyll

作曲 ケネス・ダウニー

フランスのクリスマスカロルの歌詞の「どこからこの信心の香りは来て、私の五感すべてを運び去ってしまうのだろうか」という言葉が元となっている曲です。「アイダル」とは平和な田舎の風景という意味で、音楽用語では牧歌のことを表す言葉となっています。

慰めと喜び Comfort and Joy

作曲 マーティン・トーマス

有名なクリスマスカロル「世のひと忘るな」(God rest ye merry, gentlemen)のスウィングアレンジです。救世軍バンドがクリスマスの季節によく演奏する曲の一つです。

ホルン協奏曲第 1 番ニ長調 Concerto for Horn in D

作曲 モーツァルト 編曲 ジム・ダウニー

ソリスト：タデウス・ヤング

モーツァルトがフレンチホルンのために書いたソロ曲を、ウエリントン・シタデル・バンド(WCB)楽長ジム・ダウニーが、ブラスバンドとテナーホルンのためにアレンジしました。ソリストでプリンシパルホルン奏者のタデウス・ヤングは、最近ビクトリア大学で造園の修士号を獲得し、現在造園家として働いています。

マーチ：ディスタント・トラヴェラーズ（遠方からの旅人たち） March: Distant Travelers

作曲 サム・クリーマー

この現代的なクリスマスのマーチは、オーストラリアの若き音楽家サム・クリーマーによって作曲されました。「三人の博士のマーチ」(Three Kings March)、「ノルマンディーのカロル」(Normandy Carol)、そして「羊飼いや群れを守る夜に」(While shepherds watched)が使用されています。これらの曲は、神の御子としてお生まれになったイエス様を一目見るために旅へ出た人々の物語を表現しています。

ホルネットソロ：エル・クンバンチェロ **El Cumbanchero**

作曲 ラファエル・エルナンデス 編曲 ゴフ・リチャーズ

ソリスト：ジョンティ・ズィデンボス

ラファエル・エルナンデス (1892-1965) はプエルトリコの著名な作曲家です。第一次世界大戦に従軍後、アメリカ、メキシコ、プエルトリコで演奏家、作曲家、バンドリーダー、俳優として活躍しました。世界的にヒットしたエルナンデスの曲をゴフ・リチャーズがアレンジしました。ジョンティはこの夏からソリストとして WCB で活躍している高校生。ニュージーランド・ナショナル・セカンダリー・スクール・バンドのプリンシパルホルネット奏者でもあります。

『舞台管弦楽の為の組曲第一番』より「フィナーレ」 **Finale from 'Suite for Variety Orchestra'**

作曲 ショスタコーヴィチ 編曲 イアン・ジョーンズ

1938年に初演されたこの組曲は、第二次世界大戦中にスコアが消失してしまいましたが、最近になって発見されるに至りました。16分音符が連続するパッセージのエキサイティングな曲となっています。

ファイア・イン・ザ・ブラッド **Fire in the Blood**

作曲 ポール・ラヴァト=クーパー

コンサートのフィナーレによく用いられるこの曲は、3つのワーシップソング「喜びを主に向かって歌おう」(Come let us sing for joy to the Lord)、「愛するわが主よ」(I love you Lord)そして「主よ知ってますね」(Lord, you know that we love You)を使用しています。このエキサイティングな曲は2011年に行われたISBの120周年記念の祭典の際に初演されました。

花は咲く **Flower Blossom**

作曲 菅野よう子 編曲 Tomoko Komiyama

2011年に日本が地震と津波により甚大な被害を受け、大きな悲しみの中に国全体が包まれる中で、人々を励ます歌として有名になった曲です。

フュージョン **Fusion**

作曲 マーティン・コードナー

この曲は、キリストを信じる者が地上での試練を経て、天国で神との永遠の交わりを手に入れる喜びと祝福をテーマとしています。それを表現するために、救世軍の第6代大将アルバート・オスボーンの曲「重荷を負い心くじけ」(I know thee who thou art)とクリス・ライスの現代的なワーシップの曲「イエスのもとに来なさい」(Come to Jesus)が用いられています。

イルミネート **Illuminate**

作曲 アンドリュー・ウェインライト

この曲は、神によって救われた人が、暗闇の世界から導き出され、世の光となって生きる、人生の冒険を描いています。「御顔を輝かせてください」(Shine on us)、「語りたまえ主よ」(Speak, O Lord)、「世界を神にと」(The world for God!)の3曲が使われています。「世界を神にと」は救世軍の第4代大将エバンゼリン・ブースの曲で、「世界を神にと まことを尽くして 務めを励まし」という歌詞がつけられており、その旋律がフリーゲルホルンによって美しく奏でられます。最終楽章では絶えることのないエネルギーが表現され、クリスチャンの使命は、世界に出て行って光のように輝くことである、と語りかけます。

Mr.インクレディブル **The Incredibles**

作曲 マイケル・ジアッキーノ 編曲 パートランド・モーレン

アニメ映画「Mr.インクレディブル」で使用されている「栄光の日々」(Glory Days)と「スーパー・クレジット」(The Incredits)を題材とした曲です。始めから終わりまでエネルギーとわくわく感に満ちた曲になっています。

光あれ **Let there be Light**

作曲 スティーヴン・ポンスフォード

タイトル「光あれ」は、旧約聖書の創世記の冒頭、神が天地創造の際に発した最初の言葉から取られています。オープニングは天地創造の瞬間が「ビッグ・バン」のように表現され、メロディーには「世の光 闇に下り」(Here I am to worship)という曲が用いられています。この曲のテーマとなっている光とは、世を照らす神の光として、人のかたちをとってベツレヘムの馬小屋の飼い葉桶にお生まれになったイエス・キリストのことを表しています。

マンチェスター **Manchester**

作曲 リチャード・ウェインライト 編曲 アンディ・クック

2017年にマンチェスターアリーナで起きた自爆テロ事件の犠牲者を追悼するために作られた曲です。「聞くだにうれしきイエスのみ名は」(How sweet the name of Jesus sounds in a believer's ear)という賛美歌のアレンジメントとなっています。歌詞には「聞くだにうれしきイエスの御名は、いためる心の傷をいやす」とあります。

コルネットソロ：恋人は赤い、赤いバラ **My Love is like a Red, Red Rose**

編曲 ゴードン・ランフォード

ソリスト：エバ・キー

スコットランドの詩人ロバート・バーンズの詩をエバ・キャシディが歌ったことで有名になった曲を、ブラスバンド用に編曲した美しくクラシックな作品です。ソリストのエバ・キーはプリンシパルコルネット奏者であり、バス・トロンボーン奏者グラント・キーの妻でもあります。

フェニックス Phoenix

作曲 ピーター・グレアム

組曲「宇宙戦争」の第5部の最終楽章で、不死鳥（フェニックス）が絶滅の危機を逃れて復活するように、人類が荒廃した街を建て直し始める姿を描いています。不死鳥は自らが燃えて、その燃えかすの灰の中から復活する伝説上の鳥であり、「復活」のシンボルです。この曲は日本で2012年に初演され、東日本大震災直後の日本人の心に共鳴しました。当時の人々の決意と精神は、どんな逆境も人間は乗り越えられることを今も思い起こさせてくれます。

プロミセズ Promises

作曲 サム・クリーマー

「栄えの王にます主の」(Standing on the promises of God)のクールなジャズアレンジメントです。

独唱：『ルサルカ』より「月に寄せる歌」 Rusalka's Song to the Moon

作曲 アントニン・ドヴォルザーク 編曲 ゴードン・ランフォード

ソリスト：オリビア・シート

このアリアは、おとぎ話を下敷きにしたオペラ『ルサルカ』からの独唱です。題名になっている主人公サルカが第一幕でこの歌を歌います。ルサルカは水の精霊の娘であり、彼女が住む湖に度々やってくる獵師（王子）に恋をし、人間になりたいと切に願います。この曲は彼女が月に対して、自分の愛を王子に明かしてほしいと願うために歌われます。

シャイン！ Shine!

作曲 バリー・ゴット

教会の日曜学校でよく歌われる「わたしは小さい火、光りましょう」(This little light of mine)のスイングスタイルのアレンジです。作曲者自身の大ヒットチューン「ライト・ウォーク」(Light-Walk)の30周年を記念して作られました。

フリーゲルホルンソロ：あの子はくるくと市場の中を Through the Fair

アイルランド民謡 編曲 チェルシー・パスコー

ソリスト：エマ・ダウニー

優美かつ自然で洗練された音楽はフリーゲルホルンによく合います。美しいメロディーは演奏者と観客を魅惑することでしょう。ソリストとして一番若いエマ・ダウニーが演奏します。2018年ニュージーランド・ブラスバンド独奏者チャンピオンシップの15歳以下の部門にフリーゲルホルンで挑戦し、優勝を果たしました。現在はニュージーランド・ナショナル・セカンダリー・スクール・バンドの一員です。

汝は比類なき王 Thy Matchless King

作曲 ジョエル・コリアー

エキサイティングかつチャレンジングなオープニングで始まるこの曲は、救世軍の新しい世代の作曲家ジョエル・コリアーを一躍有名にしました。ベッソンのアンバサダーであり、ユーフォニアムのソリストでもあるコリアーは、アメリカの救世軍の音楽部でチューター(講師)とディレクターを務めています。賛美歌「主につく身にわが家なく」(No home on earth have I)のアレンジメントであるこの曲は、彼の代表曲です。演奏家の技巧を要求するリズムの繰り返しが曲の始めから終わりまで奏でられます。

トロンボーンソロ：あなたの愛の力 The Power of Your Love

作曲 ジョフ・ブロック 編曲 ポール・ドゥルーリー

ソリスト：ロス・マクミラン

このトロンボーンのためのパワフルなアレンジメントは、この曲の次のような歌詞の意味を強く訴えかけます。「この心 変えてください、主の愛で 満ちるように。この弱さも 御手に委ねれば 誇りとなる あなたの愛で。あなたの 大きな愛が 私を包み込む。翼を広げ はばたき 力強く のぼってゆく あなたの愛で」 ソリストのロスは WCB のプリンシパル トロンボーン奏者であり、企業の人事部長として働いています。

目を上げて見よ Turn your eyes upon Jesus

作曲 ヘレン・ホワース・レンメル 編曲 ジョナサン・ロウゼル

「目を上げて見よ イエスキみの御顔 世につける思い消え 恵み満ち溢れる」という歌詞のコーラスが 3 回繰り返され、回を重ねるごとに激しさを増していきます。そして、リフレクションとして初めのコーラスと同じスタイルへと戻っていきます。私たちが目をイエス・キリストに向けるとき、キリストが私たちの直面している問題に助けの手を伸べてくださることを思い出させる、音楽的にも美しい祈りの曲です。

ユー・レイズ・ミー・アップ You Raise Me Up

作曲 ロルフ・ラヴランド&ブレンダン・グレアム 編曲 ドロシー・ゲーツ

ソリスト：オリビア・シート

この曲は元々アイルランド人とノルウェー人の二人で結成されたデュオ「シークレット・ガーデン」によって作曲され、2002年アメリカの歌手ジョシュ・グローバンが歌ったことでヒットしました。それ以来人気は衰えず、今なお世界中で歌われています。日本では、2006年トリノ五輪のフィギュアスケートで金メダルを獲得した荒川静香選手のエキシビションで用いられた曲として有名です。救世軍ニューヨーク・スタッフ・バンドのメンバーでもあるドロシー・ゲーツによって編曲されました。



ディーン・ラスリング／ソプラノ コルネット

ゲスト奏者として来日ツアーに参加。屋根と壁の建築資材を製造する会社を経営している。長年、多くの救世軍バンドで演奏してきた。妻キャシーとの間に2人の子ども、ジェシカとコリーがいる。子どもたちは結婚して米国オレゴンに在住。孫が1人いる。

フィリピの信徒への手紙3章10-11節「わたしは、キリストとその復活の力を知り、その苦しみにあずかって、その死の姿にあやかりながら、何とかして死者の中からの復活に達したいのです」



エバ・キー／プリンシパル コルネット

21年前にスウェーデンからウエリントンに移住し、バス トロンボーン奏者の夫grantと結婚。ブラス歴は37年を超え、音楽と歴史の修士号を持つ。音楽をしながら、小売会社の管理職を務め、現職はニュージーランド郵政の安全と福利厚生専門職。趣味は新しいレシピに挑戦すること、SF映画、読書。

使徒言行録2章21節「主の名を呼び求める者は皆、救われる」



ジョンティ・ズィデンボス／ソロ コルネット

今回の来日ツアーのゲスト奏者として喜びをもって迎えられた。高校3年生。ニュージーランド高校ブラスバンド、救世軍全国ユースバンドのメンバー。音楽、ジャズをこよなく愛する。高校卒業後は音楽の研鑽を続けたいと願っている。

エレミヤ書29章11節「わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている、と主は言われる、と主は言われる。それは平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである」



エマ・ダウニー／ソロ コルネット

15歳の高校生。コルネットとフリューゲルホルンを演奏。2018年ニュージーランド・ブラスバンド独奏者チャンピオンシップの15歳以下の部門で優勝した。WCB(ウエリントン・シタデル・バンド)の楽隊員として3年目。父はジム・ダウニー楽長、母マリーはソロホルン奏者。弟がいる。好物はラーメン。趣味はネットでの映画鑑賞、友人と遊ぶこと。

イザヤ書43章2節「水の中を通るときも、わたしはあなたと共にいる。大河の中を通っても、あなたは押し流されない。火の中を歩いても、焼かれず 炎はあなたに燃えつかない」



ウィリアム・ヤング／ソロ コルネット

WCBに15歳で加わり3年目。ユーフォニアム奏者ウォーウィック・ヤングの息子。兄ロックランはファーストバリトン奏者、従兄弟タデウスはソロホルン奏者。高校3年生。スポーツなど多彩な趣味を持つ。2017年より高校サッカーの選手。サッカーに移る前は何年もラグビーをしていて傷が絶えなかった。今回初めてバンドの海外遠征を経験。

イザヤ書40章31節「主に望みをおく人は新たなる力を得 驚のように翼を張って上る。走っても弱ることなく、歩いても疲れない」



ルイス・クレイグ／ソロ コルネット

WCBに加わり2年目。海外遠征は今回が初めて。ウエリントンのスコッツカレッジ高校の15歳。音楽をこよなく愛する。何世代も続く救世軍一家の一員。

エレミヤ書29章11節「わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている、と主は言われる。それは平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである」



ナイジェル・ミラー／ファースト コルネット

1995年よりWCB楽隊員。2007年と2013年の来日ツアーに参加。三代続くコルネット奏者。妻レイチェルとの間に10歳と7歳の息子たちがいる。ウエリントン市小隊の視聴覚チームの責任者。現職はウエリントンの大手のイベント照明会社。趣味はPCゲーム、地元のスポーツチームの応援。

箴言3章5-6節「心を尽くして主に信頼し、自分の分別には頼らず 常に主を覚えてあなたの道を歩け。そうすれば 主はあなたの道筋をまっすぐにしてください」



ウェイン・コフィ／ファースト コルネット

生涯にわたり救世軍人であることを誇りにしている。8歳の時イエスを信じ、大学で経済学を学んでいた18歳の時、再び信仰を確立した。WCBでコルネットを吹いて37年。1985年の日本ツアー、2002年のカナダ・英国ツアーに参加。妻アンとの間に5人の子ども、9人の孫がいる。隣りに座る孫のルイスと共に今回のツアーに参加できて喜んでいる。イエス・キリストを信じることで大きな祝福を経験している。仕事は実業家。
詩編 23 編 6 節「命のある限り 恵みと慈しみはいつもわたしを追う。主の家にわたしは帰り 生涯、そこにとどまるであろう」



ミンジェイ・ジョン／セカンド コルネット

2018年から楽隊員。11歳から楽器を始める。高校3年生。趣味はスポーツ、映画、ビデオ鑑賞。海外遠征は今回が初めて。

ルカによる福音書 10 章 27 節「心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい」



ジョナサン・フライ／セカンド コルネット

今年新たに WCB に参加した。妻カレンとの間に2人の成人した子どもたちがいる。IT 専門職としてニュージーランド政府の運輸計画部門のデータ収集・解析にあたるチームの責任者を務める。余暇は親戚と過ごすこと、ランニング、水泳、マウンテンバイク。

イザヤ書 49 章 13 節「天よ、喜び歌え、地よ、喜び躍れ。山々よ、歓声をあげよ。主は御自分の民を慰め その貧しい人々を憐れんでくださった」



タニア・ホートン／フリューゲルホルン

今年 WCB に加わった。夫ダンカン は Eb ベース奏者、息子オリバーはセカンドバリトン奏者。13歳の娘がいる。音楽の学士号を持ち、小学校教諭として2年生から4年生を担当。救世軍の全国レベルの唱歌隊(聖歌隊)「スピリットソング」のメンバー。趣味は編曲で、WCB や救世軍全国ユースバンドにより演奏されている。

コリントの信徒への手紙二 12 章 19 節「あなたがたは、わたしたちがあなたがたに対し自己弁護をしているのだと、これまでずっと思ってきたのです。わたしたちは神の御前で、キリストに結ばれて語っています。愛する人たち、すべてはあなたがたを造り上げるためなのです」



タデウス・ヤング／プリンシパル ソロ ホルン

2007年にWCBに参加。ユーフォニアム奏者ウォーウィック・ヤングの甥、バリトン奏者ロックランとコルネット奏者ウィリアムの従兄弟。父グレッグ・ヤングは1985年以来務めた前プリンシパルホルン奏者として2007年と2013年の来日ツアーに参加した。ウェリントン大学のビクトリア大学で造園の修士号を取得。趣味はスポーツと音楽。救世軍ユースバンドのメンバーとして米国パサデナで毎年開催されるローズパレードでの演奏に参加。海外遠征は今回で2度目。

ペトロの手紙一 5 章 6-7 節「だから、神の力強い御手の下で自分を低くしなさい。そうすれば、かの時には高めていただけます。思い煩いは、何もかも神にお任せしなさい。神が、あなたがたのことを心に掛けてくださるからです」



マリー・ダウニー／ソロ ホルン

2014年よりWCBに参加しソロホルンを演奏。夫はジム・ダウニー楽長、15歳の娘エマはソロコルネット奏者。他に13歳の息子がいる。マリーは旅行代理店を経営するかたわら、救世軍本営の芸術音楽伝道部で若い音楽家の教育と訓練にあたり、ピアノ奏者も務めている。趣味は海外旅行、音楽、芸術、絵画、刺繍、テニス、海水浴。

詩編 37 編 4 節「主に自らをゆだねよ 主はあなたの心の願いをかなえてくださる」



ピーター・ヘネシー／ファースト ホルン

海外宣教師を務めた救世軍士官(伝道者)の息子として生まれ、1986年までブラジルで過ごした。ブラジルのサンパウロ、リオグランデ、ポルトアレグレ、ニュージーランドのワンガレイの救世軍バンドで演奏。1997年にWCBに加わり、多くの小隊で青少年の弟子訓練プログラムに携わった。妻カタリナとの間に16歳と14歳の娘たちがいる。救世軍本営のIT部門に勤務。ウェリントン市小隊の重要下士官(役員会)のメンバーでもある。

エフェソの信徒への手紙 2 章 10 節「なぜなら、わたしたちは神に造られたものであり、しかも、神が前もって準備してくださった善い業のために、キリスト・イエスにおいて造られたからです。わたしたちは、その善い業を行って歩むのです」



ガブリエラ・ヘネシー／セカンド ホルン

楽隊員として18ヵ月目。父はファーストホルン奏者ピーター・ヘネシー。高校2年生で、学校の試験を終えた直後の来日ツアーとなった。高校卒業後は看護職に就きたいと願っている。ウエリントン市小隊のユースグループで活躍し、ワーシップチームではボーカル、キーボード、ピアノを担当。海外遠征は今回が初めて。

ヨハネによる福音書3章16節「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである」



グラント・ピッチャー／プリンシパル ユーフォニアム

今回のツアーにゲストとして参加。1990年代初頭と2004年から2009年の間にWCB楽隊員だった。ニュージーランド国防軍バンドで21年間演奏し、王立ニュージーランド空軍バンドの楽長を一時期務めた。現在は救世軍士官として妻リンドと共にウエストポート小隊を担当。18歳と16歳の息子たちがいる。趣味はランニング、クリケット、音楽。ロンドンのトリニティ・カレッジの特別研究員で、編曲や作曲も手がけている。今回のツアーではユーフォニアムソロを披露。



ウォーウィック・ヤング／ユーフォニアム

2007年よりWCBに参加。妻エリンとの間に2人の息子たち、20歳のロックランと18歳のウィリアムがいる。ソロホルン奏者のタデウス・ヤングの叔父であり、今回その全員がツアーに参加。ニュージーランドの国有銀行キウイバンクの国際業務部に勤務している。趣味は多彩なスポーツ、特にラグビーとサッカーの観戦。WCBの来日ツアー参加は今回が2度目。

マタイによる福音書11章28節「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう」



ブレンナ・スミス／ユーフォニアム

楽隊員として5年目。WCBとしての海外遠征は今回が初めて。救世軍全国ユースバンドのメンバーとしてアメリカ・パサデナでのローズパレードで演奏した。最近ビクトリア大学で商業の学士号を取得し卒業。趣味は読書、散歩、音楽。

ローマの信徒への手紙8章38-39節「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、力あるものも、高い所にいるものも、低い所にいるものも、他のどんな被造物も、わたしたちの主キリスト・イエスによって示された神の愛から、わたしたちを引き離すことはできないのです」



ロックラン・ヤング／ファースト バリトン

楽隊員として5年目。バリトンのほかピアノも演奏。優れたスポーツマンで、サッカーをこよなく愛する。大工の徒弟として働きながら、大工の資格の取得を目指している。弟ウィリアムはソロコルネット奏者、父ウォーウィックはユーフォニアム奏者、従兄弟タデウスはソロホルン奏者。海外遠征は今回が初めて。

箴言11章2節「高慢には軽蔑が伴い 謙遜には知恵が伴う」



ディクソン・マクミラン／ファースト バリトン

ウエリントン市小隊の救世軍人として3代目。1963年からWCBで演奏。1985年、2007年、2013年の来日ツアーに参加。妻フェイとの間に3人の成人した子どもたちがおり、孫は7人。ニュージーランド全国小売協同組合の経営に長年携わり、定年後も請われて顧問を務めている。WCBとウエリントン市小隊の重要下士官を長く務めている。趣味は夫婦でのキャンピングカーによる国内旅行、海外旅行。

エレミヤ書29章11節「わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている、と主は言われる。それは平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである」



オリバー・ホートン／セカンド バリトン

15歳。今回のツアーの最年少。今年WCBに参加した。父ダンカン はEbベース奏者、母タニアはフルーゲルホルン奏者。ウエリントンのオンズロー高校に在学中。趣味は音楽とドラムで、バスケットボール選手としても活躍。今回が初めての海外遠征となる。

エレミヤ書29章11節「わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている。それは平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである」



ロス・マクミラン／プリンシパル トロンボーン

1987年よりWCBに参加。楽隊員としては四代目。ウエリントン市小隊の曹長(役員代表)を務める。妻ジェニファーとの間に2人の成人した娘と1人の10代の息子がいる。ニュージーランドの金融会社で人事部長を務めている。余暇は釣りやボート。ファーストバリトン奏者ディクソン・マクミランの甥。

箴言3章5-6節「心を尽くして主に信頼し、自分の分別には頼らず常に主を覚えてあなたの道を歩け。そうすれば主はあなたの道筋をまっすぐにしてくださる」



ロブ・カーク／ファースト トロンボーン

結婚し、3人の成人した子どもたちがいる。牛、羊、子牛の牧畜農家。趣味はスポーツ観戦、特にクリケットとラグビーを好む。余暇には釣りやボートも。カンボジアとベトナムの貧しい村落への支援に使命感を持ち、多額の寄附をしている。

ヤコブの手紙3章17-18節「上から出た知恵は、何よりもまず、純真で、更に、温和で、優しく、従順なものです。憐れみと良い実で満ちています。偏見はなく、偽善的でもありません。義の実は、平和を実現する人たちによって、平和のうちに蒔かれるのです」



コリン・デイリー／セカンド トロンボーン

救世軍バンドで50年以上演奏。音楽教育の学位を持ち、ロンドンのトリニティ・カレッジの準研究員。金融関係の仕事のかたわら、ウエリントン太平洋聖書学校のスタッフを務め、芸術音楽伝道を教授している。多数のオリジナルの作曲を手がけ、救世軍から出版されている。2014年にはアメリカで福音伝道への功労を表彰された。趣味は旅行、観劇、語学、料理。

申命記31章6節「強く、また雄たくあれ。恐れてはならない。彼らのゆえにうろたえてはならない。あなたの神、主は、あなたと共に歩まれる。あなたを見放すことも、見捨てられることもない」



グラント・キー／バス トロンボーン

1980年からWCB楽隊員。1985年、2007年、2013年の来日ツアー、2002年のカナダ・英国ツアーに参加。ブラス歴45年以上で、ニュージーランドとスウェーデンの多くのバンドで演奏してきた。妻エヴァはプリンシパルコルネット奏者。仕事は電気技師。趣味は電気製品、コンピューター、鉄道模型。現職は、ウエリントン市小隊のファミリーストアの主任。ファミリーストアは救世軍に寄贈された献品を販売し、その収益を地域での奉仕活動に役立てている。

イザヤ書40章31節「主に望みをおく人は新たな力を得、鷲のように翼を張って上る。走っても弱ることなく、歩いても疲れない」



ローウェン・ゲデス／プリンシパル Bb ベース (楽隊軍曹)

1984年からWCB楽隊員。1985年、2007年、2013年の来日ツアーに参加。楽隊軍曹としてWCBの重要下士官を務める。父は故エリック・ゲデス楽長。仕事は公認会計士。青少年へのブラス教育に携わる。趣味は多彩なスポーツ観戦。妻ジャネットとの間に2人の成人した娘たちがいる。フィリピの信徒への手紙4章6-7節「どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。そうすれば、あらゆる人知を超える神の平和が、あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスによって守るでしょう」



ダンカン・ホートン／Eb ベース

今年WCBに参加したが、過去10年以上、海外遠征など折あるごとにWCBを助けてきた。2007年の来日ツアーに参加。ウエリントン・サウス小隊バンドの前楽長であり、現在は救世軍全国ユースバンドの楽長。ウエリントン市小隊の事務主任を務める。妻タニアはフルーゲルホルン奏者。息子オリバーはセカンドバリトン奏者。他に13歳の娘がいる。趣味は多彩なスポーツ観戦と音楽。

箴言3章5-6節「心を尽くして主に信頼し、自分の分別には頼らず常に主を覚えてあなたの道を歩け。そうすれば主はあなたの道筋をまっすぐにしてくださる」



アンドリュー・スミス／プリンシパル Eb ベース (楽隊書記)

WCB楽隊員として29年。2007年と2013年の来日ツアーに参加。イギリスで育ち、1983年にニュージーランドに移住。楽隊書記としてWCBの運営や今回の来日ツアーの準備委員会を担当。仕事はニュージーランド政府の相談役。妻アンとの間に成人した娘がいる。趣味は編曲で、WCBにより演奏され、レコードになった。多彩なスポーツ、歴史、家系図も趣味。

エレミヤ書29章11節「わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている、と主は言われる。それは平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである」



デイビッド・スミス/Bb ベース

救世軍人として 4 代目。1977 年以來 WCB で演奏。海外遠征に多数参加。来日ツアーは 1979 年、2007 年、2013 年に参加した。この 18 年間は救世軍で勤務している。妻トレイシーとの間に 3 人の成人した子どもたちがいる。息子 2 人は 2013 年の来日ツアー、娘のブレンナはユーフォニアム奏者として今回のツアーに参加している。ウエリントン市小隊の重要下士官でもある。ミカ書 6 章 8 節「人よ、何が善であり 主が何を前にお求めておられるかは 前にお告げられている。正義を行い、慈しみを愛し へりくだって神と共に歩むこと、これである」



ノア・スパーゴ/パーカッション

楽隊員として 4 年目。Eb ベース奏者を 3 年務めた後パーカッションに移った。商業音楽の学位を最近取得した。ギターからドラム、チューバまで、あらゆる楽器を演奏する。多彩な音楽グループに参加している。

詩編 150 編 5 節「シンバルを鳴らし神を賛美せよ。シンバルを響かせて神を賛美せよ」



グレントン・ワウ/パーカッション

妻パムと共に救世軍士官として 34 年目。4 人の子どもと 7 人の孫がいる。現在の任命は救世軍本営チャプレン部長。楽隊員としては他にティンパニを担当し、2007 年の来日ツアーに参加した。趣味はサイクリング、音楽、写真。

テモテへの手紙 1 章 11 節「しかし、神の人よ、あなたはこれらのことを避けなさい。正義、信心、信仰、愛、忍耐、柔和を追い求めなさい」



ジョシュ・ジェミソン/パーカッション

18 歳。海外演奏ツアーは今回 2 度目。今年の 1 月には救世軍ユースバンドの一員として米国で演奏した。専攻は音楽とクラシックピアノだが、パーカッションの演奏も愛している。今回のツアーで日本の若い楽隊員たちに会えるのを楽しみにしている。

エレミヤ書 29 章 11 節「わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている、と主は言われる。それは平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである」



オリビア・シート/独唱

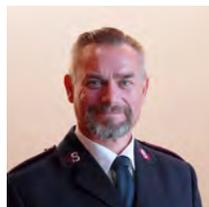
今回の WCB ツアーにゲストとして参加。WCB と日頃共演しているほか、オペラに出演。2016 年にニュージーランド音楽院でクラシック音楽の学位を取得。2017 年に合唱でオペラにデビュー。以来ニュージーランド・オペラのコーラス、ウエリントン・エタニティ・オペラの先唱者を務め、ソロのコンサートも各地で開催している。昨年ニュージーランド・アリア・コンテストに出場してオークランド交響楽団と共演し、決勝に進んだ。音楽活動のかたわら、教育機器の開発責任者として仕事をしている。現在、海外留学を準備中。

エレミヤ書 29 章 11 節「わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている、と主は言われる。それは平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである」



ジム・ダウニー/楽長

2005 年より WCB に参加。その前は救世軍オークランド・ kongress・ホール小隊バンドの楽長を務めた。王立ニュージーランド海軍バンドの楽隊員、警察官でもあった。現職は、救世軍本営の芸術音楽部長。2014 年にグレン・リチャーズ前楽長の退任に際し WCB 楽長に就任するためハミルトンに転居した。妻マリーと娘エマは今回初めて来日ツアーに参加する。趣味はクラシックカー、キューバ・ストリートのカフェ巡り。



ペリー・ブレイド大尉/エグゼクティブ・オフィサー (ウエリントン市小隊長)

妻アンネットと共に救世軍士官として 11 年目。風光明媚なニュージーランド南島での任命を経て、今年初めて北島に任命された。前任はオークランドのイーストシティ小隊の小隊長。3 人の子ども - 23 歳の双子兄妹、15 歳の娘がいる。趣味はサッカー、映画、読書、多彩な音楽鑑賞。

エレミヤ書 29 章 11 節「わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている、と主は言われる。それは平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである」

もろびとこぞりて

1. 諸^{もろびと}人こぞりて むかえまつれ
久しく待ちにし 主は来ませり
主はきませり 主は 主はきませり
2. 悪魔のひとやを うちくだきて
捕虜^{とりこ}をはなつと 主はきませり
主はきませり 主は 主はきませり
3. この世の闇路を 照らしたもう
たえなる光の 主はきませり
主はきませり 主は 主はきませり
4. しぼめる心の 花を咲かせ
めぐみの露おく 主はきませり
主はきませり 主は 主はきませり
5. 平和のきみなる み子をむかえ
すくいぬしとぞ ほめたたえよ
ほめたたえよ ほめ ほめたたえよ

救世軍歌集 47 番

Hark the glad sound! the Saviour comes

きよしこのよる

1. きよしこのよる 星はひかり
すくいのみ子は まぶねの中に
ねむりたもう いとやすく
2. きよしこのよる み告げうけし
まきびとたちは み子の御前^{みまへ}に
ぬかずきぬ かしこみて
3. きよしこのよる み子の笑みに
めぐみのみ代^よの あしたのひかり
かがやけり ほがらかに

救世軍歌集 45 番

Silent night! Holy night!

訳: JASRAC 出 1912909-901

神のみ子は今宵しも

1. 神の御子^{みこ}は今宵しも
べツレヘムに生れたもう
いぎや友よもろともに
いそぎゆきて拝まずや
いそぎゆきて拝まずや
2. おとめマリヤ母として
生まれししみどりごは
まことの神きみの君
いそぎゆきて拝まずや
いそぎゆきて拝まずや
3. 「神にさかえあれかし」と
みつかいらの声すなり
地なる人もたたえつつ
いそぎゆきて拝まずや
いそぎゆきて拝まずや
4. とこしなえのみことばは
今ぞ人となりたもう
待ち望みし主の民よ
おのが幸^{さち}をいわわずや
おのが幸をいわわずや

救世軍歌集 44 番

O come, all ye faithful

あめにはさかえ

1. 「あめにはさかえ み神にあれや
つちにはやすき 人にあれや」と
みつかいたちの たたうる歌を
ききてもろびと 共によろこび
今ぞうまれし 君をたたえよ
2. さだめたまいし 救いのときに
かみのみくらを はなれて降り
み^{たま}霊によりて 処女にやどり
世びとのなかに 住むべき為
いまぞ生れし 君をたたえよ
3. あさ日のごとく かがやき昇り
みひかりをもて 暗きを照らし
つちよりいでし 人を活かしめ
つきぬいのちを 与うるために
いまぞ生れし 君をたたえよ

救世軍歌集 39 番

Hark! the herald angels sing

あら野のはてに

1. あら野のはてに 夕日は落ちて
たえなるしらべ ^{あめ}天よりひびく
(おりかえし)
グロリヤ イン エクセルシスデオ
グロリヤ イン エクセルシスデオ
2. ひつじをまもる 野べのまきびと
あめなるうたを よろこびききぬ
3. みうたをききて ひつじかいらは
まぶねにふせる み子をおがみぬ
4. 今日しも御^{みこ}子は うまれたまいぬ
よろずの民よ いさみてうたえ

救世軍歌集 41 番

Angels we have heard on high

訳：JASRAC 出 1912909-901



育む、羽ばたく、知と心

SHOKEI

2022年に尚綱学院は創立130周年を迎えます。



尚綱学院大学

尚綱学院大学大学院

尚綱学院高等学校

尚綱学院中学校

しょうけいようちえん

尚綱学院大学附属幼稚園

学校法人尚綱学院

宮城県名取市ゆりが丘4丁目10-1 TEL.022-381-3311 <http://ap.shokei.jp/>



つなぐと世界が
見えてくる。



大学院

文学研究科／経済学研究科／社会福祉学研究科

文学部

英文学科／心理・応用コミュニケーション学科

経済学部

経済学科／経営情報学科／経済法学科

社会福祉学部

福祉計画学科／福祉臨床学科／福祉心理学科

短期大学部

英文学科／生活創造学科



Hokusei Gakuen University

北星学園大学

北星学園大学短期大学部

〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号

TEL.(011)891-2731 [代表]

URL. <https://www.hokusei.ac.jp>



学校法人 北星学園 設置校

北星学園大学附属高等学校

北星学園女子中学高等学校

北星学園余市高等学校



東洋英和女学院

東洋英和幼稚園

東洋英和女学院小学部

東洋英和女学院中学部・高等部

東洋英和女学院大学大学院

東洋英和女学院大学

東洋英和女学院大学付属かえで幼稚園



高



小学1年生から始まる日本語と英語による
バイリンガル教育「BLES(プレス)」

— 輝く未来へ —

一つでも多くの夢をもってほしい



“日米の友好の懸け橋”芸術学部アメリカ桜祭り公演
「TAIKO&DANCE」を毎年3月に3都市で実施



“世界レベルのプレーに触れる”南アフリカ共和国
「Blue Bulls」選手とのラグビークリニック



玉川大学 玉川学園

www.tamagawa.jp

〒194-8610 東京都阿田市玉川学園6-1-1 小田急線「玉川学園前」駅下車 徒歩3分